

下浜サンセットロードの開通で

下浜地区の「年間死亡事故ゼロ」を達成！！

～開通1年後の整備効果をお知らせします～

- 開通1年間、重大事故の発生はありませんでした。

国道7号(現道)の死傷事故件数も約6割の減少。6～8割の方が、事故の危険性の減少を実感。

※重大事故:死者又は重傷者が生じた事故。死傷事故には軽症者が生じた事故も含む。

- 国道7号(現道)の約9割の交通量が下浜サンセットロードに転換し、沿線住民の約6～8割の方が交通渋滞の解消を実感。

- 騒音レベルが12～16dB低下し、環境基準をクリアしました。

6割以上の方が、国道7号(現道)の騒音・振動の解消による沿道環境の改善を実感。

- 現道とのダブルネットワーク形成により代替性が確保されました。

ダブルネットワークにより、約9割の方が災害時や緊急時の不安が解消されたと回答。

【開通1年後】一般国道7号

しもはま

下浜サンセットロードが開通して

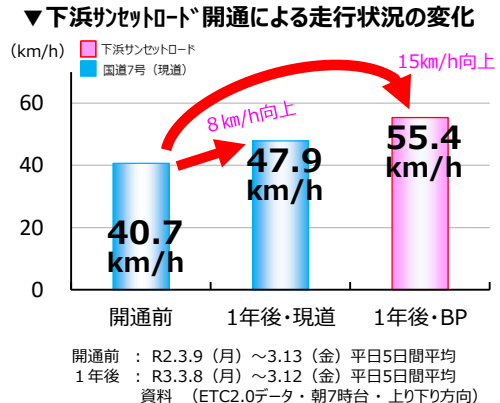
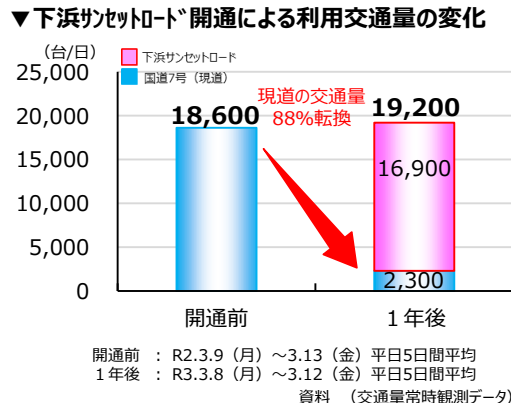
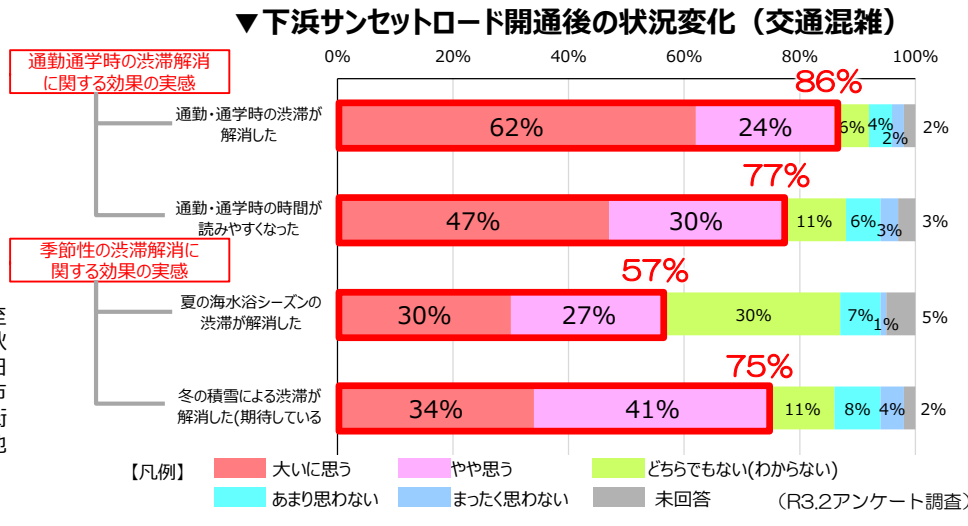
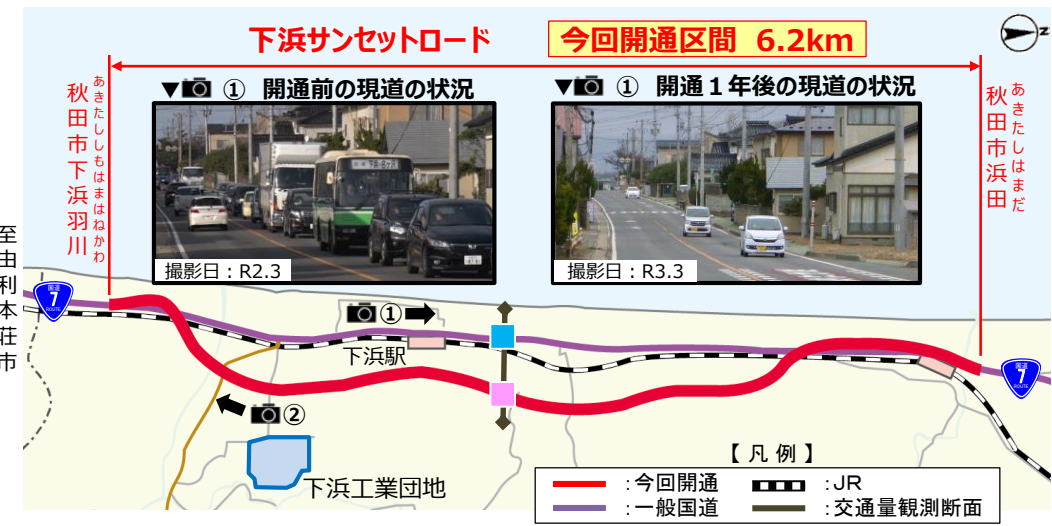
(令和2年3月14日開通)

- 現道の混雑緩和
- 生活環境の改善
- 沿道環境の改善
- 安全・安心の向上

- ～国道7号の交通量転換、走行性向上～
- ～利用者の交通安全性が向上～
- ～現道沿線の騒音問題が解消～
- ～道路ネットワークの代替性確保～

○現道の混雑緩和 ～国道7号の交通量転換、走行性向上～

- ◆下浜サンセットロードの1年後の交通量は16,900台/日(平日)、現道交通量は2,300台/日(平日)。
- ◆開通後は、国道7号の交通量が約9割転換し、走行性も大幅に向上。
- ◆沿線の住民アンケートでも、約6～8割の方が“交通渋滞が解消した”と実感しており、道路利用者の利便性向上に寄与。



《道路利用者の声》

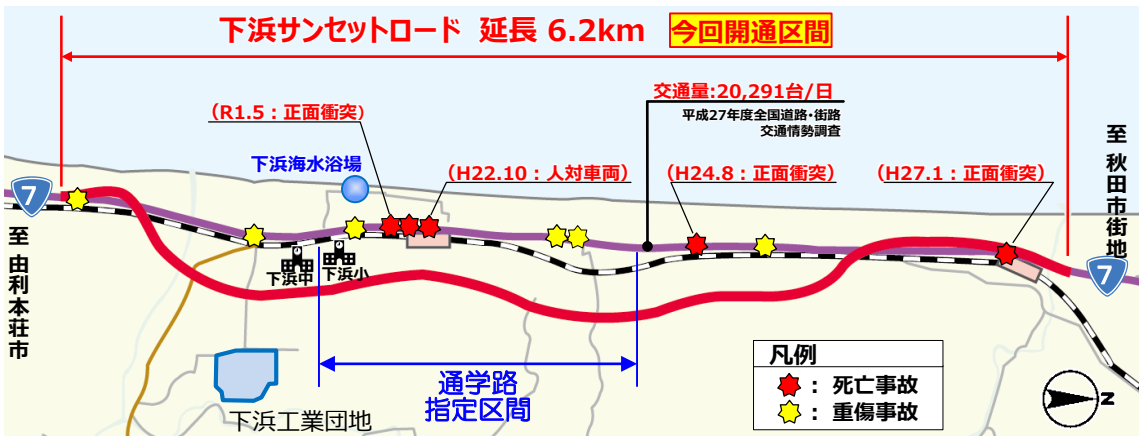
- 国道7号(現道)の交通量が大幅に減少して、国道への合流が非常に容易に(安全に)なったので助かっている。(70代・男性)
- 現道の交通量が減って交通渋滞が解消された。(60代・男性)
- 車が減って安全になり事故の大渋滞もなくなった。(50代・男性)

(R3.2アンケート調査)

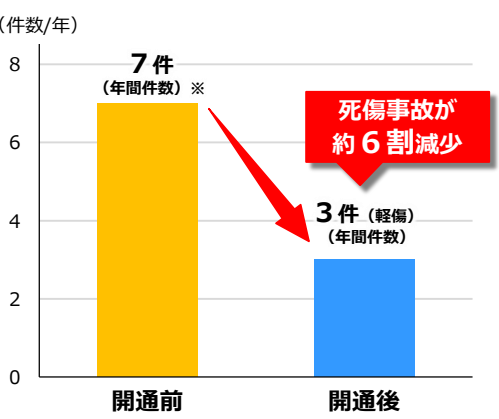
生活環境の改善 ～利用者の交通安全性が向上～

- ◆ 現道では、「正面衝突」や「人対車両」など重大事故が約10年間に11件発生。
- ◆ 開通後の1年間では、軽傷事故を含めた死傷事故件数が開通前より約6割減少に加え、“重大事故の発生ゼロ”を継続中。
- ◆ 沿線の住民アンケートでも、約6～8割の方が“事故の危険性が減少した”と実感しており、道路利用者の安全性向上に寄与。

▼ 現道（国道7号）の事故発生状況

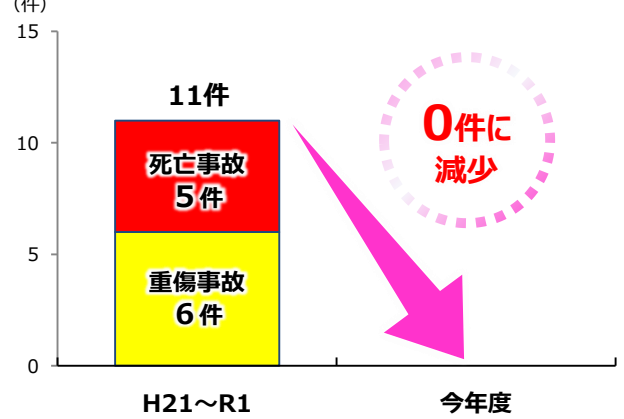


▼ 年間死傷事故件数の変化 (現道: 国道7号)



資料: ITARDAデータ (H21～H30)、県警による事故情報
※年間件数7件は、10年間で最多発生となったH23, H28の実績

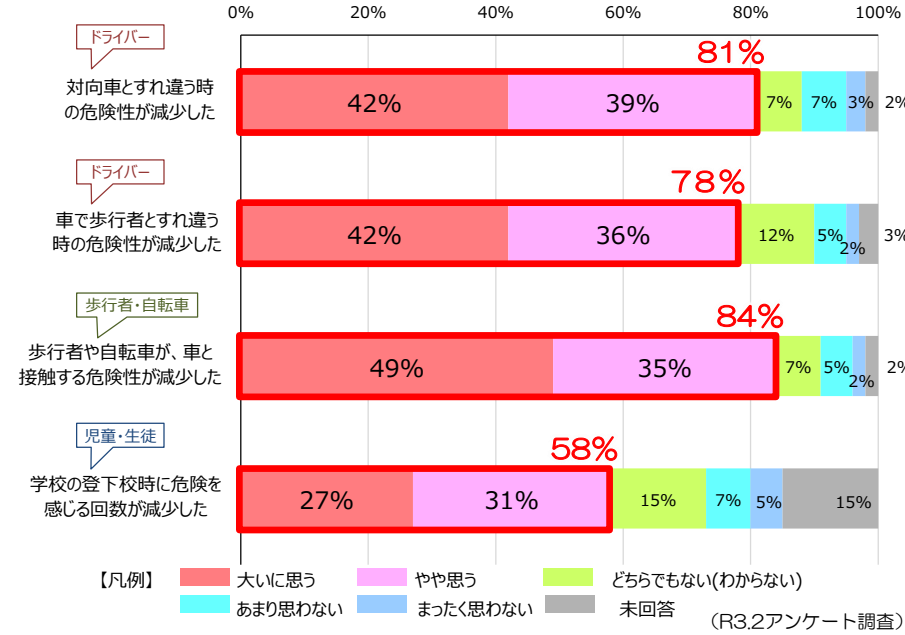
▼ 重大事故の発生件数 (現道: 国道7号)



資料: ITARDAデータ (H21～H30)、県警による事故情報 (R1の死亡事故2件を含む)

※「重大事故」: 死者又は重傷者を生じたもの

▼ 下浜サンセットロード開通後の状況変化 (交通安全)



《 道路利用者の声 》

- 現道への出入りが大変スムーズになり、危険性が大いに減少した。大型車が通らなくなり大事故の危険性もかなり低く、以前より安全に走行できるようになった。〔50代・男性〕
- 安心安全の気持ち、日々穏やかな気持ちで生活ができて本当に有難いと思う。車で道路に出る際もスムーズに出られて、危険性が少なくなった。〔60代・女性〕
- トラックがたくさん通って、騒音や歩道近くをすれ違うとき怖かったので、バイパスができてよかった。〔小学生・男子〕
- 国道7号線を通る自動車が減ったので、歩道を走るとき危険ではなくなった。〔小学生・男子〕



(R3.2アンケート調査)

沿道環境の改善 ～現道沿線の騒音問題が解消～

- ◆ 開通前は、現道沿線の家屋前を大型車が多く通行していたが、開通後は9割以上の大型車が下浜サンセットロードへ転換。
- ◆ 開通前の騒音レベルは昼夜ともに環境基準を大幅に超過していたが、開通後は騒音レベルが12～16dB低下し環境基準をクリア。
- ◆ 沿線の住民アンケートでも、6割以上の方が“騒音や振動、排気ガスの問題が解消した”と実感しており、沿道環境の改善に寄与。

▼現道（国道7号）の騒音観測地点

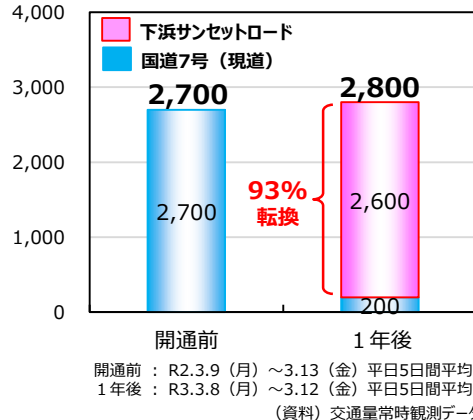


▼家屋連担区域を通行する大型車両（開通前）



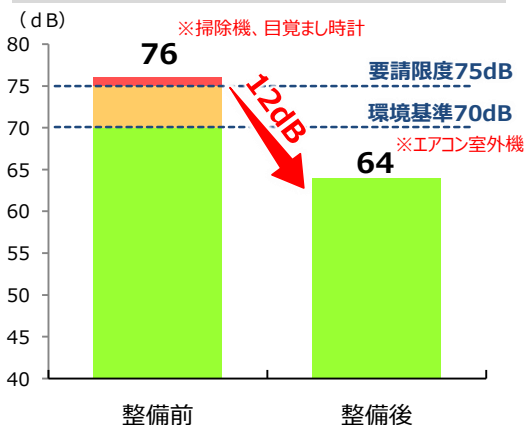
出典：H29.4撮影

▼大型車交通量の変化

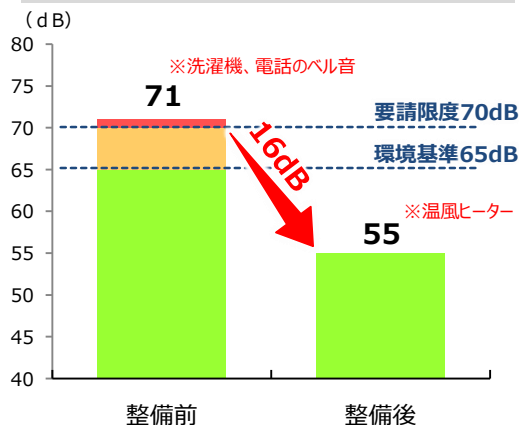


▼沿道環境（騒音レベル）の改善状況

《 昼間 》



《 夜間 》



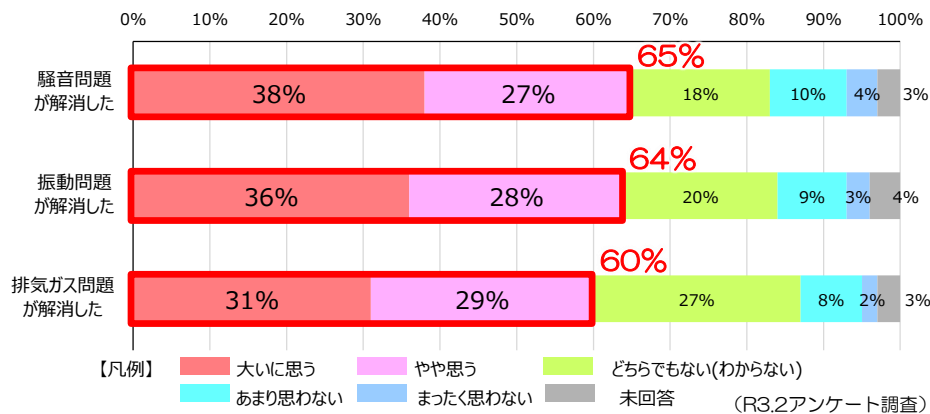
※はその大きさと同等の日常生活音

整備前：H30.10.22 (月)～10.28 (日)

整備後：国道7号：R2.10.9 (金)～10.11 (日)

(資料) 騒音振動調査結果

▼下浜サンセットロード開通後の状況変化（沿道環境）



《 沿線住民からの声 》

● 開通前は、車の騒音で夜中に目覚める事が有りましたが、今は無くなりとても静かになりました。下浜道路には感謝しております。〔30代・男性〕

● 町内が静かになって、大変住みやすくなりました。〔60代・男性〕

(R3.2アンケート調査)

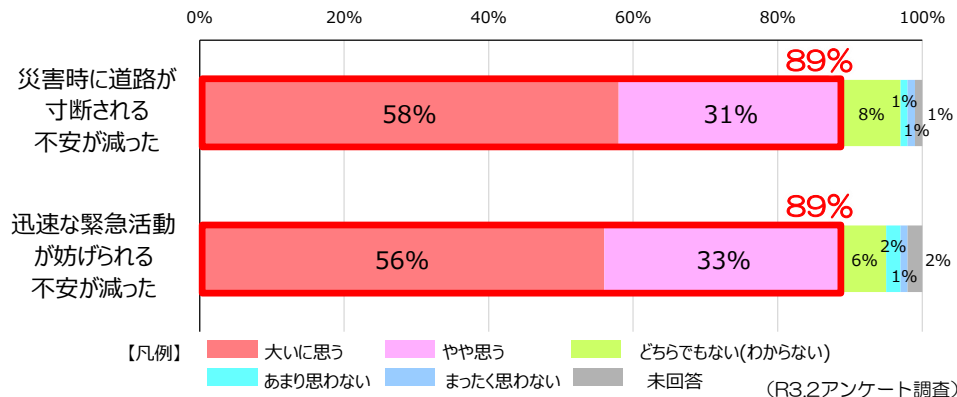
○安全・安心の向上 ～道路ネットワークの代替性確保～

- ◆下浜サンセットロードと現道が一体となり、ダブルネットワークを形成することで代替性が確保され、幹線道路としての信頼性が向上。
- ◆令和3年1月9日の大雪の際も、スタック車両発生時の迂回路や交通を流しながらの円滑な除雪など、リダンダンシーの効果を発揮。
- ◆沿線の住民アンケートでも、約9割の方が“災害時や緊急時の不安が減った”と実感しており、住民の安心・安全の向上に寄与。

▼ダブルネットワークによる幹線道路の代替性（国道7号下浜周辺）



▼下浜サンセットロード開通による不安の解消（リダンダンシー）



▼下浜サンセットロードと現道のダブルネットワークでリダンダンシーを確保



▼下浜サンセットロードと現道のダブルネットワークで交通を流しながら相互に除雪作業を実施



《 道路利用者の声 》

- 交通障害が生じると、迂回路が無く渋滞が発生し**デイサービス利用者の送迎に支障**をきたしていた。
- 開通後は、**複数ルートが確保**されてスムーズな通行が可能になった。
(R3.2福祉施設ヒアリング)
- 事故が発生すると、**迂回路がないため一部に郵便配達**の遅れが出ていたが、開通後は通行止めが生じて**も、下浜道路を回って配達**できるようになった。
- 大雪の時は**下浜道路を回って郵便局に戻る**など状況に応じて利用している。
(R3.2下浜郵便局ヒアリング)
- 下浜サンセットロードが開通して事故が減ったことと、**バイパスと現道の両方が利用できる**ことで通行止めへの不安が無くなり、住民の安心感に繋がっている。〔40代・女性〕
- バイパスが開通して、緊急車両の通行などに支障が生じなくなって、**下浜地区が安全になり良かった**。〔70代・男性〕
(R3.2アンケート調査)

